神坂　達成
かみさか　たつあき
市政レポート
Vol.70
令和４年６月議会報告　発行者：公明党さいたま市議会議員　kamisaka@cb3.so-net.ne.jp

物価高騰

給食費の保護者負担は増やさない！

市民の暮らしを守る！

５/２４、ロシアのウクライナ侵略に伴う原油や食料品などの物価高騰や急激な円安の影響が、国民生活に大きなダメージを及ぼしています。市民生活と地域経済を守るため、神坂達成は、清水勇人さいたま市長に対し、物価高騰対策に関する緊急要望を行いました。

今回、政府が公明党の主張を受け物価高騰対策として拡充した「地方創生臨時交付金」を活用し、市民生活を守る対策を講ずるよう要望。

具体的には、①小中学校・保育施設の給食費の保護者負担が増えない対策②生活困窮世帯の経済負担軽減策③高齢者・障がい者福祉施設を運営する事業者への補助策④市内中小・小規模事業者への支援策⑤ウクライナ避難民へのきめ細かな支援策――などを求めました。

（写真撮影時のみマスクを外しました。）

６月議会では要望を受けるかたちで、栄養バランスや量を保った給食の提供を確保するため、給食用食材の物価高騰分の経費について、補正を行う議案が提出され可決されました。また、同様に障がい者施設・老人福祉施設・幼稚園・保育園および市内中小事業者等においても物価高への対策が進められる事となりました。

リトルベイビーハンドブックの導入を！

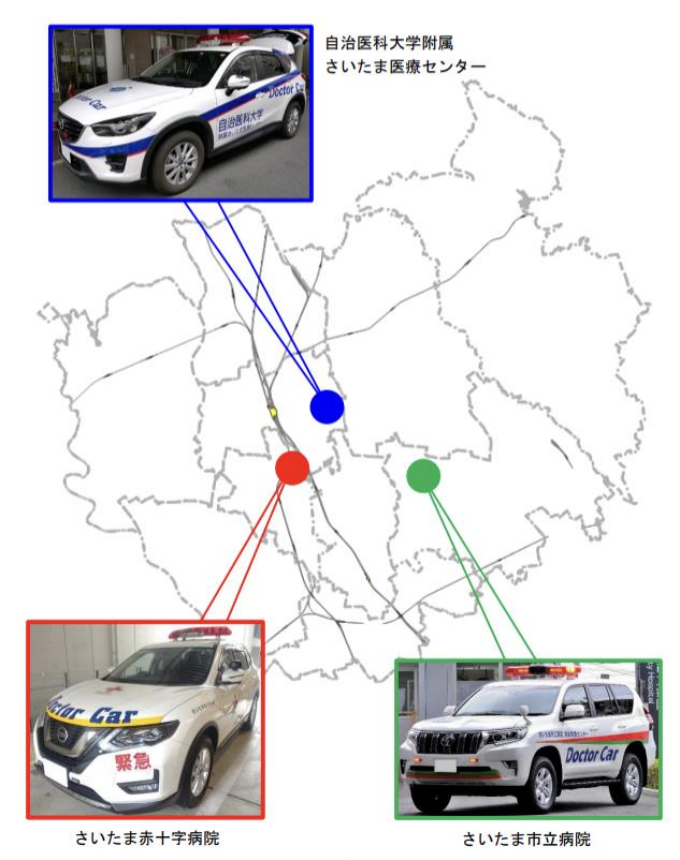
リトルベイビーハンドブックは、出生時の体重が1,500グラム未満で生まれたお子さんや保護者のための手帳で、母子手帳と併用して活用するものです。母子手帳は、満期出産を前提に作られていることから、小さく生まれたお子さんの発育曲線グラフを記入することができません。こうしたことから、小さく生まれたお子さんの発育や発達を見守りつつ、保護者の不安軽減や育児支援に役立つことを目的に作成されています。既に複数の自治体で導入が進められていることから、さいたま市においてもリトルベイビーハンドブックの導入を求めました。

答弁では、さいたま市にふさわしいリトルベイビーハンドブックについて検討をはじめるとの前向きな答弁が示されました。

さいたま市立病院にドクターカーを配備！

さいたま市立病院では、医師や看護師等が、傷病者の発生現場や医療機関に傷病者を搬送する救急車の中で早期に適切な治療を行うことで、患者の救命率の向上や後遺症の軽減を図るため、ドクターカーの運用を開始しました。

なお、さいたま市内では、さいたま赤十字病院と自治医科大学附属さいたま医療センターの２つの医療機関がドクターカーを運用しており、６月１日からさいたま市立病院が加わることで、３台体制となりました。



シニア世代にバス運賃助成制度の創設を！

超高齢社会を迎え、外出機会と社会参加を促進するため、バス等における交通費助成を行う制度は、東京都をはじめ札幌市・横浜市・名古屋市・京都市・大阪市・神戸市・福岡市など 20 政令市中 15 政令市で実施されています。いずれも自治体が実施するもので、割引乗車券販売方式、利用ごとに一定額を負担する割引方式、回数券配布方式、定期券方式など多種多様です。一方で、対象者の増加による税負担を理由に、見直しを迫られるケースも少なくありません。

しかしながら、本市の将来を見据える時、高齢者への交通費助成制度を求める声はさらにたかまることでしょう。そのため財政負担に配慮しつつ効率的・効果的な制度を構築することが求められます。

これらを踏まえ６月議会では、先進都市の事例を通して、市の考えを確認するとともに、克服すべき課題等を整理しました。神坂達成は、シニア世代へのバス運賃制度創設に向け全力で取り組みを進めてまいります。

※　議会での取組など HP で公開しています。興味のある方は是非ともご覧ください。
なお、市政に対するご意見、ご要望等ございましたらお気軽にお聞かせください。